

チャレンジコーヒーバリスタ2023をおえて

大会までの歩み

今年の4月、第3回チャレンジコーヒーバリスタの出場権の一報が会社に届いたところから、今回の物語は始まりました。

SNS で過去の大会の様子を拝見し、障害のある方たちが「お客様に美味しいコーヒーを飲んでもらいたい」という熱い思いをのせてドリップしている姿を見て、ぜひ自分たちも同じ会場に立ってみたいと思い、大会への出場を決めました。

大会当日に審査員の方に飲んでいただくオリジナルブレンドは、浅煎りですっきりとしながらも、最後に甘味や余韻を楽しめるブレンドになりました。そして、生産者からコーヒーに携わるすべての方や福祉の未来が、これからもずっと明るく幸せな未来でありますようにという想いをテーマに「未来ブレンド」と名付けました。

5月から、メンバー揃っての練習をスタートし、毎週金曜日の夕方から4～5時間の練習をおこない、よかった点、悪かった点、次回への改善点などを話し合いました。

チームとして「笑顔を忘れないこと」「それぞれの役割を果たすこと」「楽しくのぞむこと」を大切にしながら、信頼できる仲間と一緒に「優勝」を目指して切磋琢磨してきました。

大会当日

他の参加チームの競技が進むにつれ、どんどん闘志が湧き、士気も高まり、5人で円陣を組み、いよいよ自分たちの出番を迎えました。

小さなミスはあったものの、各々の役割を順調にクリアしていきました。「練習どおりできた」「緊張して手が震えてしまい、途中でもたついてしまったのが悔しい」など思いは様々でしたが、優勝できると確信するほど、「自分たちはやり切った」という想いで審査員の方々へコーヒーを提供できました。

審査結果は、自分たちが目指していた優勝という結果ではありませんでしたが、お互いの個性を発揮しながらコーヒーの個性も最大限に生かしていたことを評価された「ダーマロジカ Healthy Skin 賞」をいただき、このステージに立てたことは本当に貴重な経験となりました。

チームメンバーよりひとこと

CCB に参加できて本当によかったです。主人からも「こんな経験をさせてもらえて、本当にいい会社に入ったな」と言われて、自分でもそう思いました。私にとっては、冬青珈琲店が自分の力を発揮できる場所だと思っているので、今回の経験で得たことをお客様へ還元していきたいと思っています。